

三菱造船所 第三船渠（指定番号：第 11 号）



写真提供：三菱重工業(株)長崎造船所

所在地：長崎市岩瀬道町 159-98 ほか 6 筆

概要：造船業形成期である三菱合資会社時代に建造された大型船舶修理用船渠。

＜建造年＞1905 年（明治 38 年）

＜指定範囲＞ $A = 20,800 \text{ m}^2$

＜仕様等＞・岩盤面に石を張る石造構造
・建造当時に設置した英国製の排水ポンプ 4 台のうち 3 台が稼働中。（指定時）

指定理由：

- ・明治 38 年に建設された、当時東洋最大のドライドック。三菱による造船業発展を物語る設備で、現在も稼働している歴史的な建造物である。
- ・背後の崖を切り崩し、前面の海を埋め立てながら拡張してきた貴重な建造様式である。

その他：世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産